

## 全般季節予報・地方季節予報の解説(XML フォーマット)

全般季節予報・地方季節予報は気象庁防災情報 XML フォーマットに従います。本解説は現在の季節予報発表の運用に則して詳細に記述していますので、今後の運用の変更に伴って本解説の内容が変わる可能性があります

### 1. Control 部

```
<Control>
  <Title>全般 1 か月予報</Title>
  <DateTime>2008-03-06T05:25:00Z</DateTime>
  <Status>通常</Status>
  <EditorialOffice>気象庁本庁</EditorialOffice>
  <PublishingOffice>気象庁地球環境・海洋部</PublishingOffice>
</Control>
```

#### 1-1 Title

電文の種別を示すための情報名称

[解説] 次の値のいずれかをとる

“全般 1 か月予報”      “地方 1 か月予報”  
“全般 3 か月予報”      “地方 3 か月予報”  
“全般暖・寒候期予報”   “地方暖・寒候期予報”

#### 1-2 DateTime

発信時刻

[解説] 年月日時分秒を UTC 表記の DateTime 型で記載する。

#### 1-3 Status

運用種別

[解説] 本情報の位置づけを示し、次の値をとる

“通常”: 通常の情報を示す  
“訓練”: 本情報は訓練であり、正規の情報として利用してはならないことを示す  
“試験”: 本情報は試験であり、正規の情報として利用してはならないことを示す

#### 1-4 EditorialOffice

編集官署名

[解説] 実際に発表作業を行った官署名を示す。

#### 1-5 PublishingOffice

発表官署名

[解説] 業務的に発表した官署名を示す。

## 2. Head 部

```
<Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
  <Title>全般 1 か月予報</Title>
  <ReportDateTime>2008-03-06T14:30:00+09:00</ReportDateTime>
  <TargetDateTime>2008-03-08T00:00:00+09:00</TargetDateTime>
  <TargetDuration>P1M</TargetDuration>
  <EventID/>
  <InfoType>発表</InfoType>
  <Serial/>
  <InfoKind>季節予報</InfoKind>
  <InfoKindVersion>1.0_0</InfoKindVersion>
```

### 2-1 Title

#### 情報の標題

[解説] 次の値のいずれかをとる

“全般 1 か月予報” “(地方名) + 1 か月予報”

“全般 3 か月予報” “(地方名) + 3 か月予報”

“全般寒候期予報” “(地方名) + 寒候期予報”

“全般暖候期予報” “(地方名) + 暖候期予報”

地方名は、発表官署の担当地域名を記載する。次の値のいずれかをとる

“北海道地方” “東北地方” “関東甲信地方” “北陸地方” “東海地方” “近畿地方” “中国地方”

“四国地方” “九州北部地方（山口県を含む）” “九州南部・奄美地方” “沖縄地方”

### 2-2 ReportDateTime

#### 発表時刻

[解説] 発表時刻を JST 表記の DateTime 型で表記する

### 2-3 TargetDateTime

#### 基点時刻

[解説] 本情報の対象となる時刻・時間帯の基点時刻を示す

発表時刻を JST 表記の DateTime 型で表記する

1 か月予報は ReportDateTime の翌々日に、3 か月予報・寒候期予報・暖候期予報は翌月 1 日となる

### 2-4 TargetDuration

#### 予報期間

[解説] 本情報の対象が時間幅を持つ場合、<TargetDateTime>を基点とした時間の幅を示す

次の値のいずれかをとる

“P1M”: 1 か月予報の場合

“P3M”: 3 か月予報の場合

“P+(予報期間)+M”: 寒候期予報の場合

“P+(予報期間)+M”: 暖候期予報の場合

※予報期間…「(予報期間終了日)-(予報期間開始日)」から算出される月の個数

暖・寒候期予報は見直し発表をする場合があり、予報期間は変動する可能性があるため値は固定ではない

### 2-5 EventID

#### 識別情報

[解説] 常に空タグとなる

### 2-6 InfoType

#### 情報形態

[解説] “発表” “訂正”のいずれかを記載する

### 2-7 Serial

#### 情報番号

[解説] 常に空タグとなる

## 2-8 InfoKind

スキーマの運用種別情報

[解説] “季節予報”で固定

## 2-9 InfoKindVersion

スキーマの運用種別情報のバージョン番号

[解説] バージョン番号を記載する

例:バージョン1.0の場合 ⇒ <InfoKindVersion>1.0\_0</InfoKindVersion>

例:バージョン1.1の場合 ⇒ <InfoKindVersion>1.1\_0</InfoKindVersion>

## 2-10 Headline 部

<Headline>

<Text>期間を通して気温が高い見込みです。雪の多い傾斜地ではなだれに注意して下さい。</Text>

</Headline>

### 2-10-1 Text

見出し文

[解説] 「特に注意を要する事項」を記載する

### 3. Body 部

```
<Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/"
  xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
  <TargetArea codeType="全国・地方予報区等">
    <Name>全国</Name>
    <Code>010000</Code>
  </TargetArea>
  <Notice>お知らせ これは検討中の案です。</Notice>
  <MeteorologicalInfos type="季節予報">
    <MeteorologicalInfo>
      <DateTime significant="yyyy-mm-dd">2008-03-08T00:00:00+09:00</DateTime>
      <Duration>P1M</Duration>
      <Name>向こう 1 か月</Name>
      <Item>
        <Kind>
          <Property>
            <Type>出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率</Type>
            <ClimateFeaturePart>
              <jmx_eb:GeneralSituationText>天気は数日の周期で変わってでしょう。気温の高い日が多いでしょう。
              </jmx_eb:GeneralSituationText>
              <jmx_eb:SignificantClimateElement kind="気温">
                <jmx_eb:Text>平均気温は、北日本と東日本、西日本で高い確率 60%、沖縄・奄美で平年並または高い確率ともに 40%です。</jmx_eb:Text>
              </jmx_eb:SignificantClimateElement>
              <jmx_eb:SignificantClimateElement kind="降水量">(略)</jmx_eb:SignificantClimateElement>
              <jmx_eb:SignificantClimateElement kind="日照時間">(略)</jmx_eb:SignificantClimateElement>
            </ClimateFeaturePart>
          </Property>
        </Kind>
        <Areas codeType="全国・地方予報区等">
          <Area>
            <Name>全国</Name>
            <Code>010000</Code>
          </Area>
        </Areas>
      </Item>
      <Item>
        <Kind>
          <Property>
            <Type>地域・期間平均平年偏差各階級の確率</Type>
            <ClimateProbabilityValuesPart>
              <jmx_eb:ClimateProbabilityValues kind="気温">
                <jmx_eb:ProbabilityOfBelowNormal unit="%">10</jmx_eb:ProbabilityOfBelowNormal>
                <jmx_eb:ProbabilityOfNormal unit="%">30</jmx_eb:ProbabilityOfNormal>
                <jmx_eb:ProbabilityOfAboveNormal unit="%" significant="true">60</jmx_eb:ProbabilityOfAboveNormal>
              </jmx_eb:ClimateProbabilityValues>
            </ClimateProbabilityValuesPart>
          </Property>
        </Kind>
        <Areas codeType="全国・地方予報区等">
          <Area>
            <Name>北日本</Name>
            <Code>020100</Code>
          </Area>
        </Areas>
      </Item>
    </MeteorologicalInfo>
  </MeteorologicalInfos>
</Body>
```

#### 3-1 TargetArea 部

発表官署の担当地域を記載する

[解説] codeType 属性の属性値は“全国・地方予報区等”で固定

この要素の子要素のコード種別(TargetArea/Code)が“全国・地方予報区等”であることを示す  
また子要素により、地域名称(TargetArea/Name)とコード値(TargetArea/Code)を記載する

#### 3-2 Notice

お知らせなど

[解説] お知らせ、訂正箇所などがある場合に記述する

### 3-3 MeteorologicalInfos 部

Type 属性の属性値は“季節予報”で固定

各地域ごと (MeteorologicalInfo) や各期間ごと (TimeSeriesInfo) の予報内容に関する事項を記載する

[解説] 標題 (<Head><Title>) によって、この要素の子要素は次のようになる

- ・ 寒候期、暖候期以外の場合  
 <MeteorologicalInfo>  
 <TimeSeriesInfo>
- ・ 寒候期の場合  
 <MeteorologicalInfo>
- ・ 暖候期のとき  
 <MeteorologicalInfo>  
 <MeteorologicalInfo> ※梅雨の情報を出力する。北海道の場合は出力しない  
 <MeteorologicalInfo> ※沖縄、奄美の梅雨の情報を出力する。出力する梅雨情報に沖縄、奄美がない場合は出力しない

#### 3-3-1 MeteorologicalInfo 部

[解説] 各地域ごとの予報内容 (予報基点時刻 (DateTime)、予報期間の長さ (Duration)、予報期間の内容 (Name)、予想確率値・確率文等 (Item)) を記載する

##### 3-3-1-1 DateTime

予報・観測の基点時刻

[解説] significant 属性値により、時刻の有効部分が[“日”]までであることを示す。  
JST 表記の DateTime 型で表記する

##### 3-3-1-2 Duration

予報期間の長さ

[解説] “P1M” : 1 か月予報の場合  
“P3M” : 3 か月予報・寒候期予報・暖候期予報の場合  
“P2M” : 梅雨情報をもつ<MeteorologicalInfo>の場合 ※暖候期予報のみ

##### 3-3-1-3 Name

予報期間の内容

[解説] 予報期間の文字表現として、次の値のいずれかをとる

- “向こう1か月” : 1 か月予報の場合
- “向こう3か月” : 3 か月予報の場合
- “冬 (12月から2月)” : 寒候期予報の場合
- “夏 (6月から8月)” : 暖候期予報の場合
- “梅雨の時期 (6月から7月、沖縄・奄美では5月から6月)” : 全般暖候期予報の場合
- “梅雨の時期 (5月から6月)” : 沖縄地方暖候期予報の場合
- “梅雨の時期 (九州南部では6月から7月、奄美地方では5月から6月)” : 九州南部・奄美地方暖候期予報の場合
- “梅雨の時期 (6月から7月)” : (九州北部～東北の各地方暖候期予報) の場合

##### 3-3-1-4 Item 部

概況文・特徴のある確率文を出力する Item

[解説] 概況文・特徴のある確率文 (Kind/Property 部) 及び地域 (Areas 部) を記載する。  
概況文、特徴のある確率文を出力する Item は1つのみ

##### 3-3-1-4-1 Property 部

概況文・特徴のある確率文を記載する

[解説] ・ 概況前文 (Type) と天候の特徴 (ClimateFeaturePart) を記載する  
 ・ Property/Type は概況文の前文として、次の値をとる  
 “出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率”

##### 3-3-1-4-1-1 ClimateFeaturePart 部

## 天候の特徴

[解説] 出現の可能性が最も大きい天候を平文表現 (GeneralSituationText) で記載する。

※3か月予報の場合の GeneralSituationText は (MeteorologicalInfos/TimeSeires) 以下で出現する特徴のある気温、降水量、日照時間等の確率 (SingnificantClimateElement 部) を記載する

### 3-3-1-4-1-1 jmx\_eb:SignificantClimateElement 部

特徴のある気温、降水量、日照時間等の確率

[解説] kind 属性により、特徴のある確率の気象要素名を記載する。

属性値は次のいずれかをとる “気温” “降水量” “日照時間” “降雪量”

複数の気象要素が「特徴のある確率」をもつ場合は、それぞれの気象要素についてこの要素を出力し、この要素の子要素 (significantClimateElement/Text) で特徴のある確率を平文で記載する

### 3-3-1-4-2 Areas 部

地域名要素全体

[解説] codeType 属性の属性値は “全国・地方予報区等” で固定。

対象地域 (Area) を記載する

属性値により、Area の子要素のコード種別 (Area/Code) が “全国・地方予報区等” であることを示す Kind 部で表示する内容の対象となる地域名称 (Area/Name) とコード値 (Area/Code) を記載する

### 3-3-1-5 Item 部

各地域の確率値を出力する Item

[解説] 予報要素・確率値 (Kind/Property 部) 及び地域 (Areas 部) を記載する。

1 地域・1 気象要素ごとに Item を出力する (複数個出力可)

#### 3-3-1-5-1 Property 部

予報要素・確率値を記載する

[解説] ・概況前文 (Type) と天候の特徴 (ClimateProbabilityValuesPart) を記載する

・Property/Type は概況文の前文として、次の値をとる

“地域・期間平均平年偏差各階級の確率”

#### 3-3-1-5-1-1 ClimateProbabilityValuesPart 部

気温、降水量、日照時間等の確率

[解説] 気温、降水量、日照時間等の確率 (ClimateProbabilityValues 部) を記載する

#### 3-3-1-5-1-1-1 jmx\_eb:ClimateProbabilityValues 部

[解説] kind 属性により、気象要素名を記載する。

属性値は次のいずれかをとる “気温” “降水量” “日照時間” “降雪量”

確率値は、

- ・ 平年より低い(少ない) 確率 (ProbabilityOfBelowNormal)
- ・ 平年並の確率 (ProbabilityOfNormal)
- ・ 平年より多い(多い) 確率 (ProbabilityOfAboveNormal)

で記載する

#### 3-3-1-5-1-1-1-1 jmx\_eb:ProbabilillityOfBelowNormal

jmx\_eb:ProbabilillityOfNormal

jmx\_eb:ProbabilillityOfAboveNormal

[解説] unit 属性により、単位を示す。確率値の場合は “%” で固定

significant 属性は出力する値が「特徴のある確率」であるときのみ “true” を出力

jmx\_eb:ClimateProbabilityValues の kind 属性で指定された気象要素に対する確率値を出力する。

#### 3-3-1-5-2 Areas 部

地域名要素全体

[解説] codeType 属性の属性値は “全国・地方予報区等” で固定。

対象地域 (Area) を記載する

属性値により、Area の子要素のコード種別 (Area/Code) が“全国・地方予報区等”であることを示す

Kind 部で表示する内容の対象となる地域名称 (Area/Name) とコード値 (Area/Code) を記載する

### 3. Body 部 (続き)

```
<TimeSeriesInfo>
  <TimeDefines>
    <TimeDefine timeId="1">
      <DateTime>2008-03-08T00:00:00+09:00</DateTime>
      <Duration>P7D</Duration>
      <Name>1 週目</Name>
    </TimeDefine>
    <TimeDefine timeId="2">
      <DateTime>2008-03-15T00:00:00+09:00</DateTime>
      <Duration>P7D</Duration>
      <Name>2 週目</Name>
    </TimeDefine>
    <TimeDefine timeId="3">
      <DateTime>2008-03-22T00:00:00+09:00</DateTime>
      <Duration>P14D</Duration>
      <Name>3 ~ 4 週目</Name>
    </TimeDefine>
  </TimeDefines>
  <Item>
    <Kind>
      <Property>
        <Type>出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率</Type>
        <ClimateFeaturePart>
          <jmx_eb:SignificantClimateElement kind="気温">
            <jmx_eb:Text refID="1">気温は、1 週目は北日本と東日本で高い確率 80%…(略) です。</jmx_eb:Text>
            <jmx_eb:Text refID="2">(略) 2 週目は…(略)</jmx_eb:Text>
            <jmx_eb:Text refID="3">3 ~ 4 週目は…(略)</jmx_eb:Text>
          </jmx_eb:SignificantClimateElement>
        </ClimateFeaturePart>
      </Property>
    </Kind>
    <Areas codeType="全国・地方予報区等">
      <Area>
        <Name>全国</Name>
        <Code>010000</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
  <Item>
    <Kind>
      <Property>
        <Type>地域・期間平均平年偏差各階級の確率</Type>
        <ClimateProbabilityValuesPart>
          <jmx_eb:ClimateProbabilityValues refID="1" kind="気温">
            <jmx_eb:ProbabilityOfBelowNormal unit="">10</jmx_eb:ProbabilityOfBelowNormal>
            <jmx_eb:ProbabilityOfNormal unit="">10</jmx_eb:ProbabilityOfNormal>
            <jmx_eb:ProbabilityOfAboveNormal unit="" significant="true">80</jmx_eb:ProbabilityOfAboveNormal>
          </jmx_eb:ClimateProbabilityValues>
          <jmx_eb:ClimateProbabilityValues refID="2" kind="気温">
            <jmx_eb:ProbabilityOfBelowNormal unit="">20</jmx_eb:ProbabilityOfBelowNormal>
            <jmx_eb:ProbabilityOfNormal unit="">30</jmx_eb:ProbabilityOfNormal>
            <jmx_eb:ProbabilityOfAboveNormal unit="" significant="true">50</jmx_eb:ProbabilityOfAboveNormal>
          </jmx_eb:ClimateProbabilityValues>
          <jmx_eb:ClimateProbabilityValues refID="3" kind="気温">
            <jmx_eb:ProbabilityOfBelowNormal unit="">20</jmx_eb:ProbabilityOfBelowNormal>
            <jmx_eb:ProbabilityOfNormal unit="">30</jmx_eb:ProbabilityOfNormal>
            <jmx_eb:ProbabilityOfAboveNormal unit="" significant="true">50</jmx_eb:ProbabilityOfAboveNormal>
          </jmx_eb:ClimateProbabilityValues>
        </ClimateProbabilityValuesPart>
      </Property>
    </Kind>
    <Areas codeType="全国・地方予報区等">
      <Area>
        <Name>北日本</Name>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
</TimeSeriesInfo>
```

```
<Code>020100</Code>
  </Area>
</Areas>
</Item>
```

### 3-3-2 TimeSeriesInfo 部

#### 時系列情報

[解説] 期間の定義 (TimeDefines)、各期間ごとの予報内容 (Item) を記載する  
暖候期予報・寒候期予報の場合は出現しない

#### 3-3-2-1 TimeDefines 部

##### 時系列の時刻定義群

[解説] この要素が示す時系列の時刻定義 (TimeDefine) 群を示す

#### 3-3-2-1-1 TimeDefine 部

##### 個々の時刻定義

[解説] timeId 属性により、各期間の時刻 ID を付加する。属性値は 1~3 の連番を振る

#### 3-3-2-1-1-1 DateTime 部

##### 基点時刻

[解説] 時刻 ID に対応する各期間の基点時刻を JST 表記の DateTime 型で表記する

#### 3-3-2-1-1-2 Duration 部

##### 対照期間

[解説] 時刻 ID に対応する予報対象期間を記載する。次の値をとる

1 か月予報の 1 週目・2 週目 : "P7D"

3 ~ 4 週目 : "P14D"

3 か月予報 : "P1M"

#### 3-3-2-1-1-3 Name 部

##### 予報・観測時間の内容

[解説] 予報期間、観測時間を文章で示す

1 か月予報 : "1 週目" "2 週目" "3 ~ 4 週目"

3 か月予報 : "\*月" ※予報対象期間内の各月 (1 か月目の月・2 か月目の月・3 か月目の月)

#### 3-3-2-2 Item 部

##### 期間ごとの概況文・特徴のある確率文を出力する Item

[解説] 概況文・特徴のある確率文 (Kind/Property 部) 及び地域 (Areas 部) を記載する。  
期間ごとの概況文、特徴のある確率文を出力する Item は 1 つのみ

#### 3-3-2-2-1 Property 部

[解説] 「3-3-1-4-1 Property 部」と同様

#### 3-3-2-2-1-1 ClimateFeaturePart 部

##### 天候の特徴

[解説] 3 か月予報の場合のみ、出現の可能性が最も大きい天候を平文表現 (GeneralSituationText) で記載する  
特徴のある気温、降水量、日照時間等の確率 (SignificantClimateElement 部) をそれぞれ記載する

#### 3-3-2-2-1-1-1 GeneralSituationText

##### 出現の可能性が最も大きい天候の平文表現

[解説] refID 属性の属性値は TimeSeriesInfo/TimeDefines/TimeDefine で定義した timeId の属性値をセットする  
3 か月予報の場合のみ出現する

#### 3-3-2-2-1-1-2 jmxEb:SignificantClimateElement 部

特徴のある気温、降水量、日照時間等の確率

[解説] 「3-3-1-4-1-1-1 jmx\_eb:SignificantClimateElement 部」と同様  
kind 属性により、特徴のある確率の気象要素名を記載する。  
属性値は次のいずれかをとる “気温” “降水量” “日照時間” “降雪量”  
複数の気象要素が「特徴のある確率」をもつ場合は、それぞれの気象要素についてこの要素を出力し、この要素の子要素 (significantClimateElement/Text) で特徴のある確率を平文で記載する

### 3-3-2-2-1-1-2-1 Text

特徴のある確率を平文で記載する

[解説] refID 属性の属性値は TimeSeriesInfo/TimeDefines/TimeDefine で定義した timeId の属性値をセットする

### 3-3-2-2-2 Areas 部

地域名要素全体

[解説] codeType 属性の属性値は “全国・地方予報区等” で固定。  
対象地域 (Area) を記載する  
属性値により、Area の子要素のコード種別 (Area/Code) が “全国・地方予報区等” であることを示す  
Kind 部で表示する内容の対象となる地域名称 (Area/Name) とコード値 (Area/Code) を記載する

### 3-3-2-3 Item 部

各期間ごとの確率値を出力する Item

[解説] 予報要素・確率値 (Kind/Property 部) 及び地域 (Areas 部) を記載する。  
1 地域・1 気象要素ごとに Item を出力する (複数個出力可)

### 3-3-2-3-1 Property 部

[解説] 「3-3-1-5-1 Property」と同様

### 3-3-2-3-1-1 ClimateProbabilityValuesPart

[解説] 3-3-1-5-1-1 「ClimateProbabilityValuesPart」と同様

### 3-3-2-2-1-1-1 jmx\_eb:ClimateProbabilityValues 部

[解説] refID 属性の属性値は TimeSeriesInfo/TimeDefines/TimeDefine で定義した timeId の属性値をセットする

kind 属性により、気象要素名を記載する。

kind 属性の値は次のいずれかをとる “気温” “降水量” “日照時間” “降雪量”

確率値は、

- ・ 平年より低い(少ない) 確率 (ProbabilityOfBelowNormal)
- ・ 平年並の確率 (ProbabilityOfNormal)
- ・ 平年より多い(多い) 確率 (ProbabilityOfAboveNormal)

で記載する

### 3-3-2-2-1-1-1-1 jmx\_eb:ProbabilityOfBelowNormal

jmx\_eb:ProbabilityOfNormal

jmx\_eb:ProbabilityOfAboveNormal

[解説] 3-3-1-5-1-1-1-1 と同様

### 3-3-2-3-2 Areas 部

地域名要素全体

[解説] codeType 属性の属性値は “全国・地方予報区等” で固定。  
対象地域 (Area) を記載する  
属性値により、Area の子要素のコード種別 (Area/Code) が “全国・地方予報区等” であることを示す  
Kind 部で表示する内容の対象となる地域名称 (Area/Name) とコード値 (Area/Code) を記載する

### 3. Body 部 (続き)

```
<AdditionalInfo>
  <ClimateForecastAddition>
    <NextForecastSchedule target="1か月予報">
      <Text>毎週木曜日 14時30分 次回は3月13日</Text>
      <DateTime>2008-03-13T14:30:00+09:00</DateTime>
    </NextForecastSchedule>
    <NextForecastSchedule target="3か月予報">
      <Text>3月25日(火) 14時</Text>
      <DateTime>2008-03-25T14:00:00+09:00</DateTime>
    </NextForecastSchedule>
    <NoticeOfSchedule/>
    <AdditionalNotice/>
    *****全般暖候期予報の例*****
    <NoticeOfSchedule>
      暖候期予報については、3月と4月の3か月予報 [毎月25日頃発表] に合わせて予報内容を再検討し、変更がある場合
      には修正発表します。また、5月の3か月予報発表以降、夏の予報については、最新の3か月予報等をご利用下さい。
    </NoticeOfSchedule>
    <AdditionalNotice>なお、5月までの予報については、最新の3か月予報等をご覧下さい。</AdditionalNotice>
    *****
  </ClimateForecastAddition>
</AdditionalInfo>
```

#### 3-4 AditonalInfo 部

##### 付加事項

[解説] 季節予報の付加事項(ClimateForecastAddition)を記述する

##### 3-4-1 ClimateForecastAddition 部

##### 季節予報の付加事項

[解説] 季節予報の次回発表予定(NextForecastSchedule)、最新資料利用の注意喚起等(NoticeOfSchedule)、その他お知らせ(AdditionalNotice)を記載する

##### 3-4-1-1 NextForecastSchedule 部

##### 季節予報の次回発表予定

[解説] target 属性で指定された季節予報を対象に、次回発表予定日(DateTime)とその平文表現(Text)を記載する  
この要素は、属性値の種別ごとに複数個出現する  
属性値は以下の条件を満たしたものがセットされる

属性値:

“1か月予報”: 全ての季節予報文で記述する。

“3か月予報”: 全ての季節予報文で記述する。

“暖候期予報”: 1月の3か月予報発表日以降、暖候期予報が発表されるまでの1か月予報と、1月に発表する3か月予報で記述する。

“寒候期予報”: 8月の3か月予報発表日以降、寒候期予報が発表されるまでの1か月予報と、8月に発表する3か月予報で記述する。

##### 3-4-1-2 NoticeOfSchedule

##### 最新資料利用の注意喚起等

[解説] 3か月予報: 翌月について記述する。

寒候期予報(見直し以外の場合): 10月・11月発表の3か月予報による取り扱いを記述する

暖候期予報(見直し以外の場合): 3月・4月・5月発表の3か月予報による取り扱いを記述する

発表予定以外の、見直しによる暖・寒候期予報: 翌月以後の取り扱いを記述する

寒候期予報(10月)、暖候期予報(3月・4月)の見直し結果を記述する

その他、発表予定に関して特記事項がある場合に記述する

### 3-4-1-3 AdditionalNotice

その他お知らせ

[解説] 暖・寒候期予報の見直し結果等前半期間に関する説明等  
その他、特記事項がある場合に記述する。